



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思います。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合っしてほしいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思います。  
よろしくお願いいたします。

## ★資料名

「みんないっしょだよ」

## ★今回の道徳の授業のねらい

誰に対しても思いやりの心を持ち、親切にしようとする態度を育てます。

## ★お話のあらすじや内容について

俳優の黒柳徹子さんのお話です。黒柳さんは30年以上もユニセフ親善大使を務めていますが、その原点は「トモエ学園」の小林校長先生がよく言っていた「いっしょだよ、みんないっしょにやるんだよ。」の言葉です。教材には、見る・聞く・話すが不自由な人との関わり、世界各地にある戦争や貧困、病気などで親を失った子供たちの施設を訪問したときの触れ合いが書かれていて、黒柳さんの行動を通して、親切や思いやりについて深く考えることができます。

## ★児童のふり返り

- ◎黒柳徹子さんはすごい人ですが、小学校の時に、担任の先生を困らせていたなんてびっくりしました。トモエ学園の校長先生は黒柳さんの話をじっくりと聞いてくれたので優しい人だと思いました。
- ◎トモエ学園の子どもたちは、障害のある人もない人も、みんなが幸せになってほしいと思っていたことが「みんないっしょだよ」につながっていると思います。みんな伸び伸びと勉強できるよい環境だったんだと思います。
- ◎黒柳さんが考える「みんないっしょ」とはどのような心なのか考えました。みんなから、「みんなを幸せにしたいと思う心」「みんなを楽しませたいと思う心」「差別をなくし、仲間外れをつくらぬ心」など話し合いました。これから自分も思いやりの心を持ちたいです。

## ★家庭で話し合っしてほしいこと

子供でも大人でも、人に親切にして喜ばれるとうれしいものですね。子供たちは、家族に始まり、成長とともに、友達、学校や地域の人々と、関わる対象を広げていっています。しかし、近年は人の直接的な関わりが少なくなっていて、人間関係が希薄化しているとも言われています。

人はお互いに支え合って生きています。最高学年になった子供たちには、広い視野をもって他者を受け入れ、思いやりの心をもって相手が必要としていることを考えて行動できるように育てたいと願っています。ご家庭でもご家族お一人お一人の体験を話し合ってみてください。

